

令和6年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	建設計画課 工事管理課		電話番号	直通	989-5520 989-5518
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ				
政策	快適で便利なまちの実現		施策分野	道路	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	766,669 千円	今年度 予算額	1,208,695 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	都市計画道路の整備率	目標値		77	78	79	79	80	%	A
		実績値	76.9	77.3	77.3	80.8				
2	生活道路が充実していると思う町民の割合	目標値		39	43	46	50	50	%	A
		実績値	-	57.0	62.0	66.1				
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価		A：想定以上に進んでいる			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	都市計画道路高田上土狩線（下土狩工区214m）の用地取得、無電柱化を取り入れた詳細設計の実施、都市計画道路沿津三島線（町道中土狩竹原線以東）の事業化に向けた地元と整備検討会、地元への説明会の実施、橋梁や舗装の延命化の実施、生活道路の整備や改修の実施、都市計画道路整備プログラムの更新、生活空間満足度向上事業の実施
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	- 令和5年3月31日現在の都市計画道路の整備率は80.8%（整備済道路延長23,540m／計画決定道路延長29,150m）となっているが、整備済路線の中には計画交通量を超えている路線もあり、通勤時間帯に渋滞が発生し円滑な都市交通に支障をきたしていることから、引き続き幹線道路網の整備が必要である。 - 都市計画道路整備プログラムに基づき、短期整備路線に位置付けられた路線の整備が必要である。 - 新設する道路はバリアフリー新法に基づき整備しているが、従前の歩道等については高齢者や車いす、ベビーカーが通行しにくい状態が続いている。 - 高度経済成長期に数多く造られた橋梁の多くが建設から50年以上経過しメンテナンス期を迎え、点検結果に基づく修繕の継続が必要である。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	- 各区からの要望対応を含め、誰もが移動しやすい生活道路、歩行者ネットワークを構築していく。 - 既に橋梁や舗装の長寿命化計画はスタートしているが、適宜見直しをかけ事業費の平準化に努めるとともに、引続き改善箇所の把握と対処に向け事業を継続する。 - 電柱をなくすこと（電線の地中化）により、災害時に強い道路整備を推進するとともに、景観形成を図る。